

全国学力学習状況調査 報告

(国語・数学・英語科・英語科「話すこと」)

調査名: 令和5年度全国学力・学習状況調査

実施日: 令和5年度 4月18日 対象: 第3学年 269名(国語、数学)

実施日: 令和5年度 4月18日 対象: 第3学年 270名(英語)

実施日: 令和5年度 4月21日 対象: 第3学年 259名(英語「話すこと」)

国語

| | 生徒数 | 平均正答数 | 平均正答率(%) | 中央値 | 標準偏差 |
|-----------|---------|-----------|----------|------|------|
| 横浜市立戸塚中学校 | 269 | 10.9 / 15 | 73 | 12.0 | 3.2 |
| 神奈川県(公立) | 60,261 | 10.4 / 15 | 70 | 11.0 | 3.4 |
| 全国(公立) | 892,738 | 10.5 / 15 | 69.8 | 11.0 | 3.4 |

現状と課題

- 文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考える項目が、全国・神奈川県の平均値をともに大きく上回っている(約10%)。
- 話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめる項目が、全国・神奈川県の平均値をともに上回っている(約5%)。
- ▼原因と結果、意見と根拠などを情報と情報との関係について理解する項目が、全国・神奈川県の平均値をともに、少し下回っている(約1%)。

改善策

全体的に全国・神奈川県の平均値を上回っているが、文章における原因と結果、意見と根拠の関係性についての理解が平均値をわずかに下回っている。説明的な文章を読む際に、意見と根拠に着目し、情報と情報の関係性に向き合う時間を確保する。

重点指導事項等

主張と根拠の関係性などに着目して説明的な文章を読む。その手段として「批判的な読み」の指導を取り入れる。主張と根拠の関係性が適切かどうかなどをじっくり考えて読むことによって、情報と情報の関係性についての理解を深める。

数学

| | 生徒数 | 平均正答数 | 平均正答率(%) | 中央値 | 標準偏差 |
|-----------|---------|----------|----------|-----|------|
| 横浜市立戸塚中学校 | 269 | 8.4 / 15 | 56 | 9.0 | 3.9 |
| 神奈川県(公立) | 60,302 | 7.8 / 15 | 52 | 8.0 | 3.9 |
| 全国(公立) | 893,114 | 7.6 / 15 | 51.0 | 8.0 | 3.9 |

現状と課題

- 目的に応じて式を変形し、理由を説明する項目が、全国平均を大きく上回っている(約10%)。
- 図形を証明することに基づいて、論理的に説明する項目が、全国平均を大きく上回っている(約15%)。
- ▼グラフや式を用いて、事象を数学的に解釈し、数学的に説明する項目が全国平均を少し下回っている(約4%)。

改善策

問題を解くだけでなく、学習した内容から、いろいろな事象を数学的に解釈し、説明する時間をとる。

重点指導事項等

問題演習により、引き続き、学力の定着を行う。生徒どうしが、数学の問題について対話することで、いろいろな考え方の理解を深める。

英語

| | 生徒数 | 平均正答数 | 平均正答率(%) | 中央値 | 標準偏差 |
|-----------|---------|----------|----------|------|------|
| 横浜市立戸塚中学校 | 270 | 9.6 / 17 | 56 | 10.0 | 4.1 |
| 神奈川県 (公立) | 60,318 | 8.6 / 17 | 50 | 8.0 | 4.3 |
| 全国 (公立) | 893,528 | 7.7 / 17 | 45.6 | 7.0 | 4.2 |

現状と課題

○与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして会話として成り立つ英文に変える項目において全国平均を上回っている (約15%)

○まとまった英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する項目において、全国平均を上回っている。(約10%)

▼まとまった英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く項目において、全国平均と同じ割合である。

改善策

まとまった英文を読み、その概要を理解することができているので、さらにそれに対する自分の意見を考え、理由と共に表現する時間をとる。

重点指導事項等

教科書の内容など、まとまった英文を読んだ際に、自分だったらどう考えるか、グループワーク等を通して深める。またそれを英語で表現するライティングテストなどを実施する。

英語「話すこと」

| | 生徒数 | 平均正答数* | 平均正答率(%)* | 中央値* | 標準偏差* |
|-----------|---------|---------|-----------|------|-------|
| 横浜市立戸塚中学校 | 259 | 0.9 / 5 | 17 | 1.0 | 1.1 |
| 全国 (国公立) | 814,666 | 0.6 / 5 | 12.4 | 0.0 | 1.0 |

○相手からの質問に対して答えるやり取りの項目において、質問に対して回答する項目が全国平均よりも上回っている。(約8%)

○相手とのやり取りをする項目において、自分の持っている情報を相手に伝える項目が、全国平均よりも上回っている。(約8%)

▼相手とやり取りする項目において、理由と共に自分の意見を話す項目が全国平均よりも下回っている。(0.2%)

改善策

全体的に全国平均よりも上回っているが、自分の意見を伝えたり、意見に対する自分の意見を伝えたりする項目の割合が低いので、自分のことを英語で表現するアウトプットの時間を多くとる。

重点指導事項等

自分の意見を、自信をもって伝えるためには、英語で表現する機会をもっと増やす必要があるので、スピーキングやパフォーマンスの回数を増やす。